

2023年（令和5年）年4月1日

中部日本吹奏楽連盟加盟団体 様

中部日本吹奏楽連盟

理事長 春日 俊文

2023年（令和5年）度 中部日本吹奏楽コンクールの課題曲の演奏について

本連盟主催の見出しのことについては、次のとおりとする。

1 楽譜上にない楽器について代替楽器を使用する場合

- (1) 既存のパートをそのままなぞる形での演奏を認める。楽器によってはオクターブの変更は問わない。
- (2) チューバパートをコントラバスで演奏する場合の arco/pizz の奏法は、各団体の判断に任せる。
- (3) フルートパートをピッコロで演奏する場合のオクターブの変更は問わない。

2 繰り返しについて

- (1) 課題曲 A, B, E 楽譜通りリピートを行う
- (2) 課題曲 D リピートしない

3 演奏上の訂正等

(1) 課題曲 A

① 「tacet」 表記に関して

楽譜上は 67 小節目からとなっていますが、66 小節目の 1 拍目裏 tacet となります。また、tacet 終了は、82 小節 1 拍目までとなります。

また、「tacet」はオプション表記となりますので、リピート内 1 回目の演奏で該当パートが必ず休まなければいけないという指示ではありません。

「1st」という意味が打楽器パートで具体的な楽器指定となっておりませんが、出版社公式音源では (https://youtu.be/b7T_KTy-9qI)、

Percussion1 は、Snare Drum が tacet、Percussion 2 は、Crash Cymbals が tacet、となっております。

② Bassoon, Trombone, Euphonium

49 小節目スラーは 2 拍目から 3 拍目ではなく、2 拍目から次小節(50 小節目)1 拍目全音符までです。(47-48 小節目・51-52 小節目と同様)

4 この件に関するその他のお問合せ

中部日本吹奏楽連盟 事務局長 小林 建亮

勤務先：愛知県豊橋市立吉田方中学校

chusuiren@icloud.com